

災害時のトイレ・ 下水道フォーラム

下水道展
'23 札幌

参加費
無料

厳冬期における避難所でのトイレ・衛生対策

中央防災会議は、2021年12月に日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震による被害想定を公表しました。そこでは積雪寒冷地での被災を踏まえて低体温症要対処者数を推計するなど、被災者の健康維持のための寒さ対策が重要な課題の一つであると指摘しています。

心身の健康を確保する上で、トイレ対策も不可欠です。断水や設備損傷により水洗トイレは、幅広い地域で使用できなくなることが考えられます。トイレ・衛生環境が悪化すると、トイレへ行く回数を減らそうと飲食を控えたり、体を動かさなかったりするなど、エコノミークラス症候群等に罹患し、死に至ることもあります。

そこで本フォーラムは、厳冬期において避難所のトイレ機能をどのように確保したらよいかについて学びます。

■ 日 時：2023年8月3日（木）14：00～16：20

■ 会 場：札幌ドーム 1階西棟会議室 85

〒062-0045 北海道札幌市豊平区羊ヶ丘1

■ プログラム：

13：30 【受付開始】

14：00 【開会挨拶】

公益社団法人日本下水道協会

14：05 【趣旨説明】 災害時におけるトイレ対策の現状と課題

加藤 篤 （特定非営利活動法人日本トイレ研究所 代表理事）

14：20 【講演】 厳冬期における避難所の衛生対策

根本 昌宏 氏（日本赤十字北海道看護大学 看護薬理学領域 教授／
災害対策教育センター センター長）

15：10 【休憩】

15：20 【報告】 札幌市における下水道の地震対策と浸水対策

佐藤 陽介 氏（札幌市 下水道河川局 事業推進部 下水道計画課 雨水計画担当係長）

15：50 【意見交換】 厳冬期におけるトイレ機能の確保を考える

パネリスト：根本 昌宏 氏

佐藤 陽介 氏

コメンテーター：末久 正樹 氏

（国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部 下水道企画課 企画専門官）

進行：加藤 篤

16：20 【閉会】

※プログラムは変更となる場合がございますので、ご了承ください